



金ヶ崎周辺整備構想

市民ワークショップ提言書

平成23年6月29日(水)



【人道の港 敦賀】パンフレットより引用

【報告者】

ファシリテーター:	福井県立大学	井上 武史
WS企画・運営:	UR都市機構	西 斗志夫
		山根 健太郎

はじめに

金ヶ崎周辺の将来像を、3回のワークショップを通じて市民の皆さん自らが様々なアイデアを提案し、また夢や希望を自由に熱く語り合いました。

そしてその成果を、今後の金ヶ崎周辺整備構想策定委員会への提言として取りまとめました。

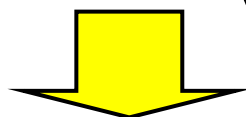
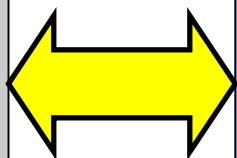
「鉄道」と「港」の歴史 ～時代背景(明治期以降)～

<鉄道>

- ・1869年(明治2年)
「琵琶湖湖畔～敦賀」決定
- ・1882年(明治15年)
金ヶ崎～長浜間鉄道開通
ランプ小屋築造
- ・1912年(明治45年)
欧亜国際連絡列車開通
- ・1941年(昭和16年)
欧亜国際連絡列車閉鎖

<港>

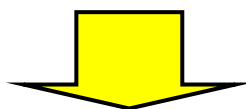
- ・1899年(明治32年)
敦賀港開港場
- ・1902年(明治35年)
敦賀～ウラジオストック間定期
航路開設
- ・1907年(明治40年)
第一種重要港湾に指定
- ・1940年(昭和15年)
ユダヤ人難民受入れ(命のビザ)
- ・1941年(昭和16年)
航路閉鎖



◆「鉄道」は国内**3番目**(①東京・横浜間、②京都・神戸間)に位置付け

◆「港」は国内**4港**(①横浜、②神戸、③下関・門司)の内の一つである
第一種重要港湾に指定

⇒日本国内外において敦賀は鉄道と港の重要拠点として位置付けられる



敦賀にとって「鉄道」と「港」は密接な関係

ワークショップの背景

2012年は・・・

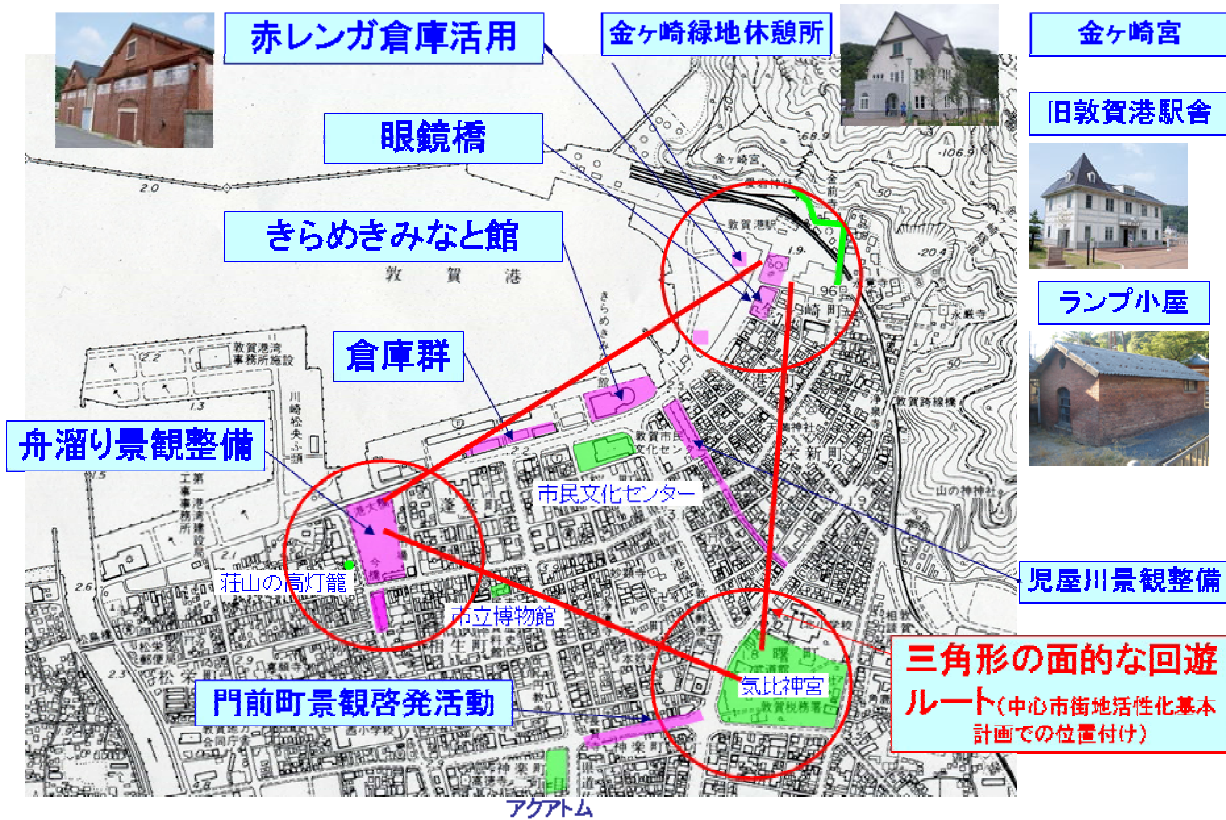
- ◆敦賀－長浜間 鉄道開通 130周年
- ◆敦賀－浦潮間 定期航路開設 110周年
- ◆欧亜国際連絡列車運行 100周年



【鉄道タイムトラベルシリーズVol.2 昭和10年の鉄道旅行より引用】

2012年という節目の年を迎えるに当たり、敦賀のまちがこれまで歩み培ってきた、【鉄道】と【港】の歴史を振り返りつつ、それらの財産を今後の市民主体のまちづくりに活かしていきたい。

ワークショップの目的



敦賀市中心市街地活性化基本計画(H21.12)



【メインテーマ】

観光による「交流人口の増加」

【基本理念】

「港都つるが交流文化の再生と創造」

【基本方針】

- ①資源を活かした集客拠点づくり
- ②集客拠点をつなぐ回遊ルートづくり

◆中心市街地活性化基本計画の中で賑わい拠点の一つとして位置付けられている金ヶ崎周辺には、港まちを感じさせる赤レンガ倉庫やランプ小屋、現在休止している港線や旧敦賀港駅舎などの鉄道関係の資源が多くあるとともに、未活用の土地も点在しています。

◆このような資源について、個々に活用方策を考えるのではなく、将来にわたって一体的に活用していくための構想を策定するための最初の取り組みとして、市民の方々の提案やアイデアを幅広く取り入れるため、ワークショップを開催しました。

金ヶ崎周辺整備構想 全体の流れ(予定)

H22年度	H23年度	H24年度	H25～27年度	H28～32年度
	<p>★ 2月 定期航路 110周年</p> <p>★ 3月 鉄道開通 130周年</p>	<p>★ 6月 欧亜国際列車 100周年</p>	<p>◆ H26年度 舞鶴若狭自動車道 全線開通</p> <p>◆ H26年度末 長野～金沢間 北陸新幹線開通</p>	
<p>市民ワークショップの開催</p>	<p>金ヶ崎周辺整備構想 策定委員会</p>	<p>金ヶ崎周辺整備構想策定委員会でのフォローアップ</p>		

ワークショップ運営体制

■ファシリテーター

福井県立大学地域経済研究所

井上 武史

■WS企画・運営

UR都市機構西日本支社都市再生業務部

西 斗志夫、山根 健太郎

■事務局

敦賀市企画政策部中心市街地活性化推進室

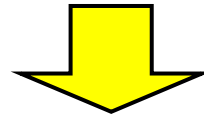
■参加者

主に敦賀市民(高校生以上で公募)

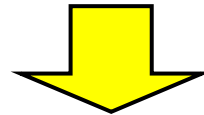
ワークショップのスケジュールと提言の流れ

回数	日程	テーマ	参加人数
第1回	3月23日(水)	金ヶ崎地区の歴史を探る！	35人
第2回	4月27日(水)	まちづくりゾーン案を話し合う！	25人
第3回	5月25日(水)	具体化に向けたアイデアを出し合う！	22人

延べ
82人



6月29日(水) ワークショップの成果を市長へ報告します！



8月(予定) ワークショップの成果を策定委員会へ提言します！！

ワークショップの様子①

第1回



グループディスカッション

第2回



テーマ説明



グループ発表



グループ発表

ワークショップの様子②

第3回



テーマ説明



グループディスカッション

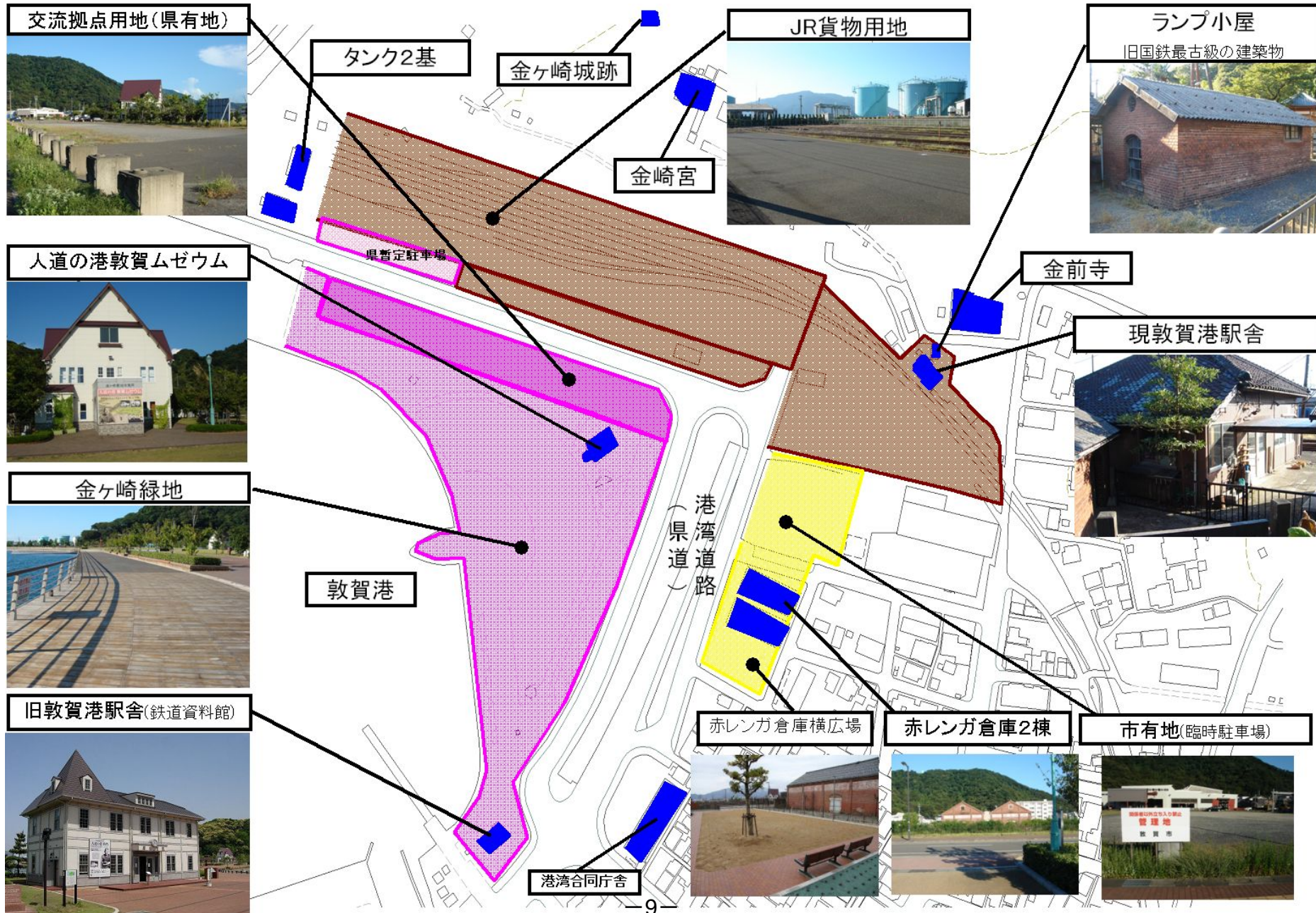


グループディスカッション



ファシリテーターによるまとめ

ワークショップ対象エリア: 金ヶ崎周辺の状況



ワークショップ参加者による主なキーワード

■鉄道

<ハード>

- ・線路の活用
- ・ランプ小屋の活用
- ・欧亚国際連絡列車の運行
- ・駅舎の建設・移設と鉄道博物館拡張
- ・SL (D51・本町第三公園C58)
- ・999 (松本零士) 関連
- ・ジオラマ展示とジオラマカフェ
- ・テーマレストラン
- ・宿泊施設

<ソフト>

- ・トロッコ列車、人カトロッコなど
- ・線路ウォーキング、サイクリング
- ・イベント(SL・クイズ・コンテスト)
- ・独自のアイドル(48)、ゆるキャラなどのPR
- ・おもてなし

■その他

- ・回遊性向上とアクセス改善(シャトルバス・金崎宮等)
- ・ドラマ性、物語性
- ・ターゲット(市民・観光客・鉄道ファン・子供)
- ・コンセプト
- ・PR方法(ネット、パネル・紙芝居、幼小中高のイベント等)

■港・港町

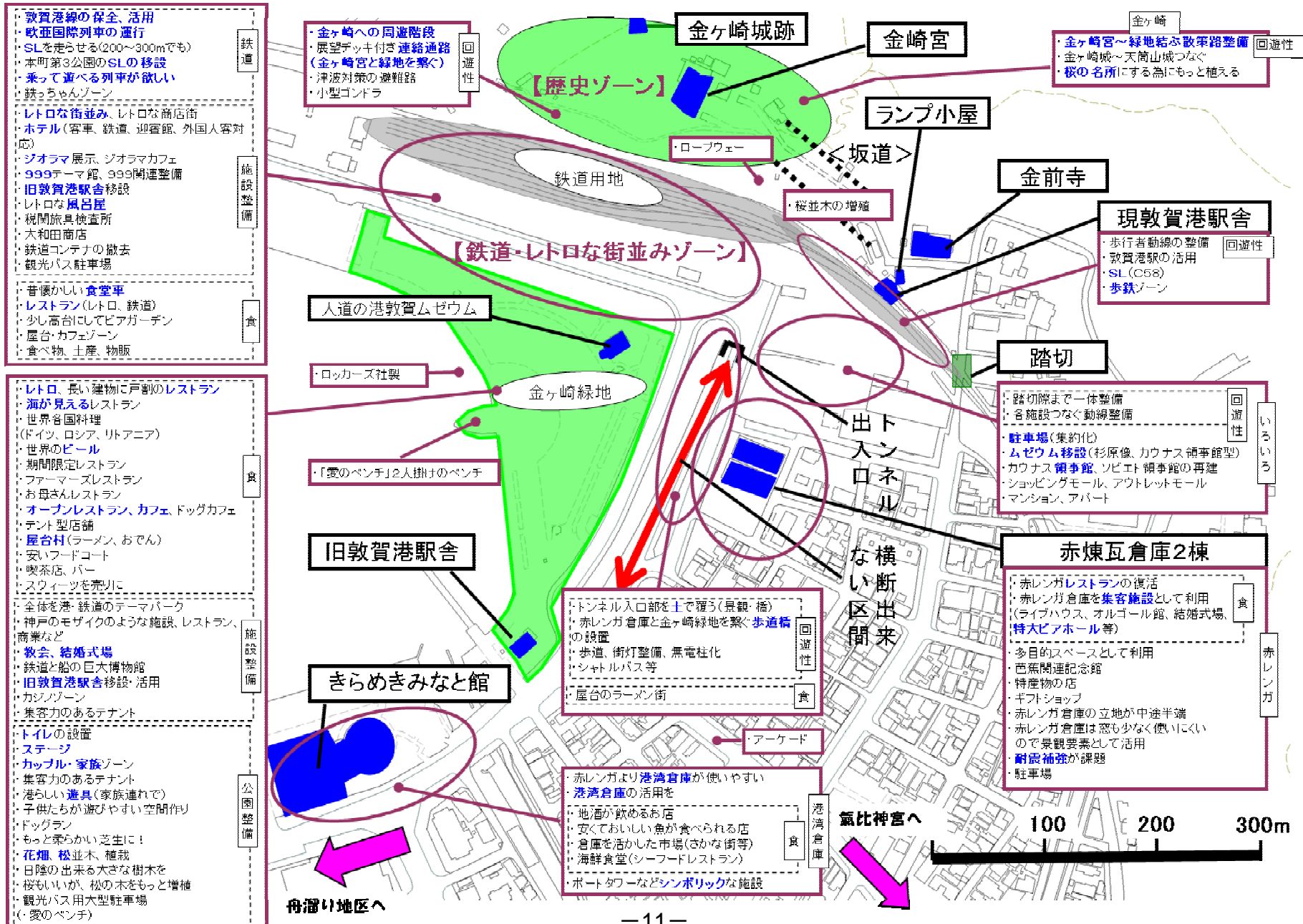
<ハード>

- ・赤レンガ倉庫の活用
- ・人道の港ムゼウムの活用
- ・レトロなまちなみ (とことん造る)
- ・領事館(ソビエト・リトアニア)
- ・趣のあるレストラン、カフェ
- ・賑わいを演出する飲み屋、バー
- ・教会、結婚式場
- ・宿泊施設やレトロな風呂屋
- ・シンボリックな施設
(噴水・タワー・ブリッジ・ロープウェイ等)
- ・歩道、街灯整備、無電柱化
- ・花畑、松並木、植栽
- ・マンション、アパート
- ・食、物販等の商業施設

<ソフト>

- ・杉原千畝映画化、風呂屋の小説化
- ・クルージング、船の操縦体験
- ・夜景整備、イルミネーション
- ・音楽、コンサート
- ・外国人のおもてなし

ハード提案(新施設整備・移設・回遊性等)



- 鉄道**
- 敦賀港線の保全、活用
 - 欧亜国際列車の運行
 - SLを走らせる(200~300mでも)
 - 本町第3公園のSLの移設
 - 乗って遊べる列車が欲しい
 - 鉄っちゃんゾーン
- 施設整備**
- レトロな街並み、レトロな商店街
 - ホテル(客車、鉄道、迎賓館、外国人客対応)
 - ジオラマ展示、ジオラマカフェ
 - 999テーマ館、999関連整備
 - 旧敦賀港駅舎移設
 - レトロな風呂屋
 - 税関旅具検査所
 - 大和田商店
 - 鉄道コンテナの撤去
 - 観光バス駐車場
- 食**
- 音儀がしい食堂
 - レストラン(レトロ、鉄道)
 - 少し高台にてビアガーデン
 - 屋台・カフェゾーン
 - 食べ物、土産、物販

- 回遊性**
- 金ヶ崎への周遊階段
 - 展望デッキ付き連絡通路(金ヶ崎宮と緑地を繋ぐ)
 - 津波対策の避難路
 - 小型ゴンドラ

- 回遊性**
- 金ヶ崎宮~緑地結ぶ散策路整備
 - 金ヶ崎城~天筒山城つなぐ
 - 萩の名所にする為にもっと植える

- 回遊性**
- 人道の港敦賀ムゼウム
 - ロッカース社製

- 回遊性**
- 現敦賀港駅舎
 - 歩行者動線の整備
 - 敦賀港駅の活用
 - SL(C58)
 - 歩鉄ゾーン

- 回遊性**
- 踏切
 - 踏切際まで一体整備
 - 各施設つなぐ動線整備
 - 駐車場(集約化)
 - ムゼウム移設(杉原像、カウナス領事館型)
 - カウナス領事館、ソビエト領事館の再建
 - ショッピングモール、アウトレットモール
 - マンション、アパート

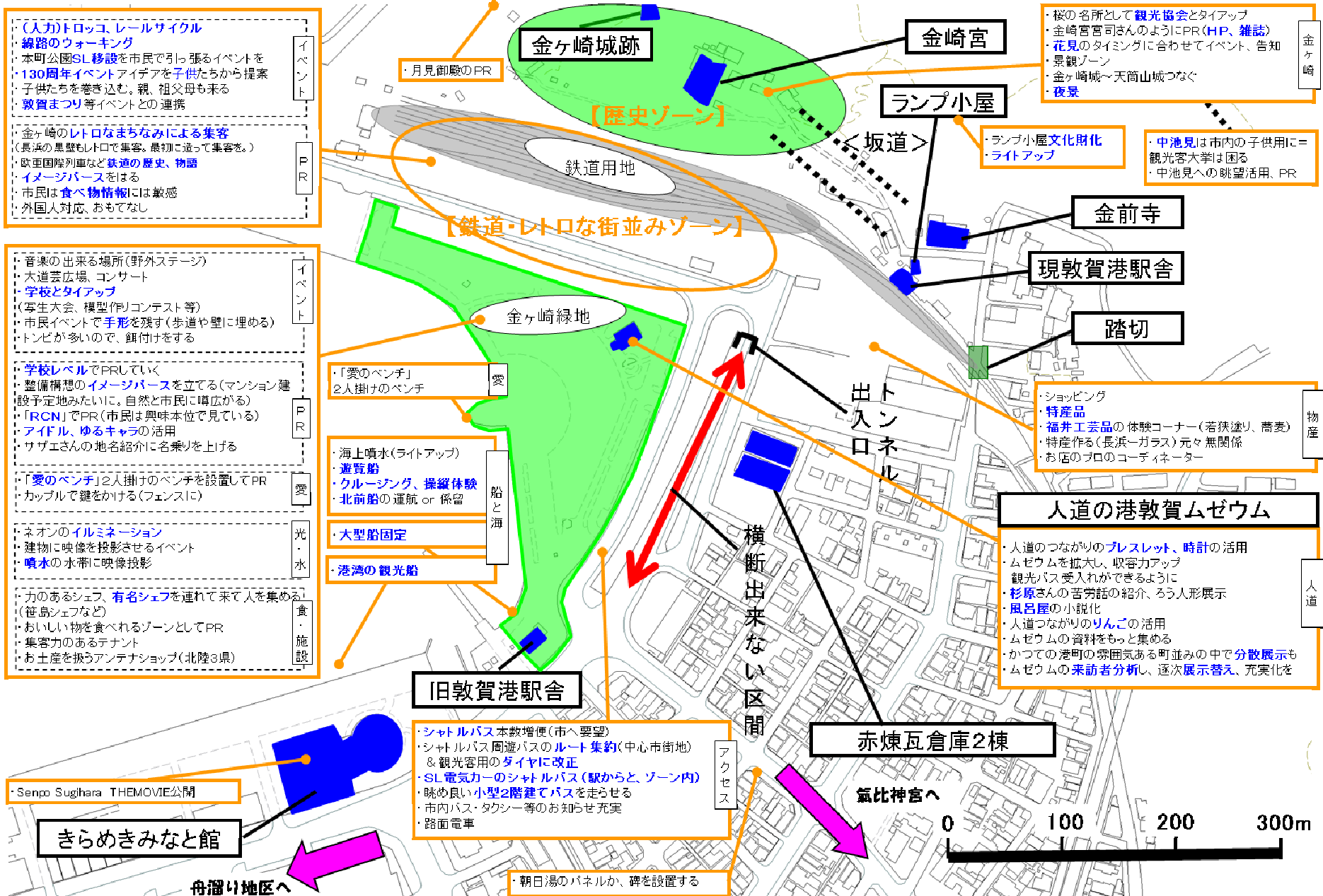
- 食**
- レトロ、長い建物に戸割のレストラン
 - 海が見えるレストラン
 - 世界各国料理(ドイツ、ロシア、リトアニア)
 - 世界のビール
 - 期間限定レストラン
 - ファーマーズレストラン
 - お母さんレストラン
 - オープンレストラン、カフェ、ドッグカフェ
 - テント型店舗
 - 屋台村(ラーメン、おでん)
 - 安いフードコート
 - 喫茶店、バー
 - スイーツを売りに
- 施設整備**
- 全体を港・鉄道のテーマパーク
 - 神戸のモザイクのような施設、レストラン、商業など
 - 教会、結婚式場
 - 鉄道と船の巨大博物館
 - 旧敦賀港駅舎移設・活用
 - カシノゾーン
 - 集客力のあるテナント
- 公園整備**
- トイレの設置
 - ステージ
 - カップル・家族ゾーン
 - 集客力のあるテナント
 - 港らしい遊具(家族連れで)
 - 子供たちが遊びやすい空間作り
 - ドッグラン
 - もっと柔らかな芝生に!
 - 花畑、松並木、植栽
 - 日陰の出来る大きな樹木を
 - 桜もいいが、松の木をもっと増植
 - 観光バス用大型駐車場(愛のベンチ)

- 回遊性**
- トンネル入口部を土で覆う(景観・橋)
 - 赤レンガ倉庫と金ヶ崎緑地を繋ぐ歩道橋の設置
 - 歩道、街灯整備、無電柱化
 - シャトルバス等
 - 屋台のラーメン街

- 食**
- 赤レンガレストランの復活
 - 赤レンガ倉庫を集客施設として利用(ライブハウス、オルゴール館、結婚式場、特大ビアホール等)
 - 多目的スペースとして利用
 - 芭蕉関連記念館
 - 特産物の店
 - ギフトショップ
 - 赤レンガ倉庫の立地が中途半端
 - 赤レンガ倉庫は窓も少なく使いにくいので景観要素として活用
 - 耐震補強が課題
 - 駐車場

- 食**
- 赤レンガより港湾倉庫が使いやすい
 - 港湾倉庫の活用を
 - 地酒が飲めるお店
 - 安くおいしい魚が食べられる店
 - 倉庫を活かした市場(さかな街等)
 - 海鮮食堂(シーフードレストラン)
 - ポーターワンなどシンボリックな施設

ソフト提案(イベント・PR・交通アクセス等)



イベント

- (人力)トロッコ、レールサイクル
線路のウォーキング
本町公園SL移動を市民で引っ張るイベントを
130周年イベントアイデアを子供たちから提案
子供たちを巻き込む。親、祖父母も来る
敦賀まつり等イベントとの連携

PR

- 金ヶ崎のレトロなまちなみによる集客
(長浜の黒壁もトロッコで集客。最初に通って集客を。)
欧米国際列車など鉄道の歴史、物語
イメージバースをはる
市民は食べ物情報には敏感
外国人対応、おもてなし

イベント

- 音楽の出来る場所(野外ステージ)
大道芸広場、コンサート
学校とタイアップ
(写生大会、模型作りコンテスト等)
市民イベントで手形を残す(歩道や壁に埋める)
トンビが多いので、餌付けをする

PR

- 学校レベルでPRしていく
整備構想のイメージバースを立てる(マンション建設予定地みたいに。自然と市民に噂広がる)
「RCN」でPR(市民は興味本位で見ている)
アイドル、ゆるキャラの活用
サザエさんの地名紹介に名乗りを上げる

愛

- 「愛のベンチ」2人掛けのベンチを設置してPR
カップルで鍵をかける(フェンスに)

光・水

- ネオンのイルミネーション
建物に映像を投影させるイベント
噴水の水帯に映像投影

食・施設

- 力のあるシェフ、有名シェフを連れて来て人を集める
(笹島シェフなど)
おいしい物を食べれるゾーンとしてPR
集客力のあるテナント
お土産を扱うアンテナショップ(北陸3県)

金ヶ崎城跡 [歴史ゾーン]

- 月見御殿のPR

金ヶ崎緑地 [鉄道・レトロな街並みゾーン]

- 「愛のベンチ」2人掛けのベンチ
- 海上噴水(ライトアップ)
- 遊覧船
- クルージング、操縦体験
- 北前船の運航 or 係留
- 大型船固定
- 港湾の観光船

金ヶ崎宮

- 横の名所として観光協会とタイアップ
金崎宮司さんのようにPR(HP、雑誌)
花見のタイミングに合わせてイベント、告知
景観ゾーン
金ヶ崎城〜天筒山城つなぐ
夜景

ランプ小屋

- ランプ小屋文化財化
ライトアップ

金前寺

- 中池見は市内の子供用には観光客大衆は困る
中池見への眺望活用、PR

現敦賀港駅舎

- ショッピング
- 特産品
- 福井工芸品の体験コーナー(若狭塗り、蕎麦)
- 特産作る(長浜ーガラス)元々無関係
- お店のプロのコーディネーター

踏切

出ト入ト口ネル

旧敦賀港駅舎

- シャトルバス本数増便(市へ要望)
- シャトルバス周遊バスのルート集約(中心市街地)&観光客用のタイヤに改正
- SL電気カーのシャトルバス(駅からと、ゾーン内)
- 眺め良い小型2階建てバスを走らせる
- 市内バス・タクシー等のお知らせ充実
- 路面電車

赤煉瓦倉庫2棟

きらめきみなと館

- Sempo Sugihara THEMOMIE公開

アクセス

- 朝日湯のパネルか、碑を設置する

人道

人道の港敦賀ムゼウム

- 人道のつながりのプレスレット、時計の活用
- ムゼウムを拡大し、収容力アップ
観光バス受入れができるように
- 杉原さんの苦勞話の紹介、ろう人形展示
- 風呂屋の小説化
- 人道つながりのりんごの活用
- ムゼウムの資料をもっと集める
- かつての港町の雰囲気ある町並みの中で分散展示も
- ムゼウムの来訪者分析し、逐次展示替え、充実化を

参加者からたくさんのアイデアや提案が出され、
また課題についても議論を交わしました。



昭和初期頃の敦賀港の復元模型（敦賀市立博物館所蔵）

ワークショップで出た主な課題

(I) コンセプト・ターゲット

- 歴史、物語、ストーリー性
- ターゲットと戦略の明確化

(II) 整備の進め方

- 今ある資源の有効活用
- 核となる新施設整備
- エリア内外の回遊性向上

(III) 整備・運営戦略

- ハード・ソフトを一体化させた推進
- メリハリのある資金投下と段階的整備
- 市民・民間・行政の役割分担と連携
- マネジメント（施設管理・運営）の戦略

(IV) 集客戦略

- イベントの戦略
- PR方法の戦略
- おもてなし
- 駅からの交通アクセス改善
- 食や地元物産等の活用

課題へのアプローチ①

(I) 全体テーマ:コンセプトの設定

「鉄道の夜明けと人道の港 敦賀」

(I) ターゲット

①市民の憩いの場

②観光客

<WSで出たキーワード>

・市民が楽しめる場

・子供が遊べる場
・友人に案内できる空間
・デートスポット

・観光客が滞在する場
・鉄道マニア ・外国人

(II) 整備の進め方

①地域資源の保全・活用

②新しい街並み・景観づくり

③エリア内外の回遊性

・線路
・赤レンガ倉庫、ランプ小屋
・人道の港(ムゼウム、物語性)

・レトロなまちなみ
・レストラン、カフェ
・夜景整備

・エリア内(歴史・鉄道ゾーン、金ヶ崎緑地)の回遊性
・歩道橋整備など歩行者動線強化
・エリア外(倉庫群、舟溜り、氣比神宮等)への回遊性

課題へのアプローチ②

(Ⅲ) 整備・運営戦略

① ソフト戦略と物語性導入

- <WSで出たキーワード>
- ・鉄道の歴史・物語性の盛り込み
 - ・人道の港の歴史・物語性の盛り込み
 - ・今ある資源の活用 ・人カトロッコ等の仕掛け

② 資金投下と段階的整備

- ・初期の中核施設の見極め
- ・特に食による集客、まちなみ整備
- ・仮設店舗等による初期集客と集客力に応じた恒久施設整備

③ 役割分担と連携

- ・民間のアイデア活用と行政支援
- ・公設民営などの工夫
- ・市民参加による盛り上げ

④ マネジメント

- ・集客力に応じた施設整備と運営
- ・中核施設やテナントの誘致

(Ⅳ) 集客戦略

① イベント・PR

- ・SLの移設、人カトロッコ等のイベント
- ・アイドル、ゆるキャラ等でのPR
- ・幼小中高校と連携したイベント(手形・絵)
- ・ネット戦略とJR、マスコミ等とのタイアップ

② 交通アクセス・おもてなし

- ・駅からのシャトルバス等の増便、ルート見直し
- ・サイン、案内板の強化
- ・市民による案内、おもてなしの意識

③ 食・地元物産の活用

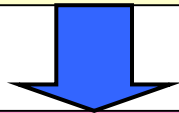
- ・敦賀の強みである、海鮮物の活用
- ・県内各地方の物産展や工芸品の活用

金ヶ崎周辺整備に関する基本的な考え方①

- ① (Ⅰ) 市民の憩いの場であつ観光客の目的地となる、「鉄道と港のまち」として整備
- ② (Ⅰ) 「欧亜国際連絡列車」等の玄関口として最も輝いた、明治後期～昭和戦前頃の時代を中心テーマに設定
- ③ (Ⅱ) 鉄道用地、赤レンガ倉庫を中心としたゾーンは、「鉄道・レトロな街並みゾーン」として設定(民間活力の活用)
- ④ (Ⅱ) 線路敷き、ランプ小屋、赤レンガ倉庫等の既存ストック活用とレトロな街並みなどの新たな整備
- ⑤ (Ⅱ) 海側の金ヶ崎緑地の開放性活用
- ⑥ (Ⅱ) 山側の金ヶ崎城跡、金崎宮、中池見等、既存の「歴史ゾーン」の活用
- ⑦ (Ⅱ) 歴史ゾーン、鉄道ゾーン、金ヶ崎緑地等の各ゾーン間の回遊性向上
- ⑧ (Ⅱ) 倉庫群や舟溜り地区、氣比神宮等への周辺エリアとの回遊性向上

金ヶ崎周辺整備に関する基本的な考え方②

- ⑨ (Ⅲ) ハード整備と共に、ソフト面の「**鉄道**」や「**人道の港**」に関する**物語性**も導入
- ⑩ (Ⅲ) **市民、民間、行政**の役割分担と連携
- ⑪ (Ⅲ) **2012年**を契機とした**市民参加**での機運盛上げ
- ⑫ (Ⅲ) **2014年の舞鶴若狭自動車道開通等**を最初の節目とした**整備**(節目毎の目標設定による10年程度の長期計画)
- ⑬ (Ⅲ) **集客力**に応じた**段階的**整備
- ⑭ (Ⅲ) **中核施設**の見極めと整備スケジュールに応じた**民間活力**の導入
- ⑮ (Ⅲ) **実態需要**に応じた**施設整備・マネジメント**戦略
- ⑯ (Ⅳ) **イベント・PR**戦略と**知名度**向上
- ⑰ (Ⅳ) **シャトルバス**や**サイン**等による**駅からの交通アクセス**強化と**市民のおもてなし意識**向上
- ⑱ (Ⅳ) 敦賀の強みである「**食**」、福井県の「**工芸品**」等の活用



策定委員会へ提言します！！